

イラク油田開発に関する報道について

各位

昨日来、日本側コンソーシアム3社によるイラク油田開発等に関する報道がなされていますが、これは3社として発表したものではありません。

イラクは世界第三位の原油確認埋蔵量を誇る資源大国であり、今なお未開発の油田が相当数存在しており、有望な上流事業の可能性を有することから、わが国エネルギー安全保障の観点から極めて重要な国であると考えています。

こうしたなか、イラクでの上流事業進出を目指し、現在、イラク政府と同国の油田開発等について交渉を続けておりますが、一部で報じられているような「基本合意に至った」との事実はありません。

今般の交渉において一定の進展があったことは事実ですが、競合相手の存在や、協議事項が多岐に亘ることなどから、一部報道にあるような「次回交渉で最終合意」との認識には至っていないのが事実であります。具体的な進捗状況や内容については、いまだ交渉中であり、言及できませんが、今後とも交渉成立に向けて鋭意取り組んでまいり所存です。

以上